

西 彼 保 健 所 感 染 症 情 報

令和7年 第 18 週 令和7年4月28日 ～ 令和7年5月4日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

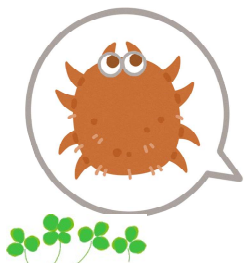
一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	【第18週】日本紅斑熱 患者1名(60代・男性)
五類感染症	【第18週】百日咳 患者3名(10代・女性2名、男性1名)

定点把握の対象となる5類感染症 発生状況 (定点医療機関当たり患者数)

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベル				警報レベル		注意 報レベル
	17 週	18 週	開始	終息			開始	終息			
インフルエンザ定点	0.40	0.00	30	10	10	突発性発しん	0.33	0.00			
COVID-19	0.20	0.80				ヘルパンギーナ	0.00	0.00	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	93.60	82.80				流行性耳下腺炎	0.33	0.00	6	2	3
R Sウイルス感染症	2.00	0.33				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	0.00	0.00	3	1		流行性角結膜炎	1.00	0.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.00	1.67	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	14.67	9.00	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.00	1.00	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	0.00	1.00			
手足口病	0.00	0.00	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.00	0.33	2	1		感染性胃腸炎 （ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

管内において日本紅斑熱患者が発生しました。



- マダニが活発に活動する時期になりました
- 西彼地域は、マダニに刺咬されることで感染する「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」や「日本紅斑熱」の病気が報告されている地域です
- マダニは、草むらや野生動物に付着しています
- 草むしり、農作業、山野・畑・雑草が生い茂る場所に入る際は、注意が必要です

①予防 (マダニに咬まれない)

- 草むしりや農作業等を行う時は、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を少なくしましょう。
- 虫除けスプレーを積極的に活用しましょう。
- 作業後は、早目に風呂・シャワーをあびましょう (肌についた刺咬する前のマダニを洗い流します)。



②早期受診

- 高齢者や基礎疾患をもつ方は、死亡につながる恐れのある感染症です。
- 皮膚を刺咬しているマダニを見つけたら、自身で無理に取ろうとせず、皮膚科等医療機関で処置を受けましょう。
- 作業後(1～2週間)に、発熱、倦怠感、消化器症状(嘔吐・下痢・腹痛)、発疹等の症状がみられたら、早目に医療機関を受診しましょう。

※全てのマダニが病原体を持っているわけではありません。刺咬されても慌てず、落ち着いて経過をみましょう。